ROTARY CLUB OF HEKINAN WEEKLY

碧南ロータリークラブ週報

第３１８０回例会 令和８年１０月１３日(火)

●会長 杉浦 栄次
●幹事 岡島 晋一
●会場監督(SAA) 石川 鋼逸

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL〈0566〉41-1100　FAX〈0566〉48-1100
ホームページ：https://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　長田康弘・石川昌樹・三木信幸

2026-2027 年度
国際ロータリー会長メッセージ

CREATE LASTING IMPACT
持続可能なインパクトを生み出そう

●斉　唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

●本日のお弁当

衣浦グランドホテル

●本日のお客様

第２７６０地区 ガバナー　國府谷俊盛様（名古屋東ＲＣ）
〃　地区幹事　山田哲也様　（名古屋東ＲＣ）
刈谷ＲＣ　杉浦裕司君、岡崎南ＲＣ　神尾　淳君

歓迎の辞　及び　会長挨拶


高浜 RC　杉浦浩一会長

改めまして、こんにちは。

本日はガバナー公式訪問という貴重な機会に高浜 RC と碧南 RC で合同例会を開催できますことを心より嬉しく思っております。ご多用の中お越しいただいたガバナーをはじめ地区役員の皆様に両クラブを代表して心より御礼申し上げます。

私はいつもの会長挨拶では例会外のロータリー活動をご紹介しているんですけれども、今日は遠方からお越しいただいていますので、高浜市と碧南市の概要を簡単にご紹介させていただきます。

高浜市と碧南市は製造業が主な産業になっておりまして、高浜市は瓦、碧南市は醸造・農業・工業の町です。高浜市は人口が 50,000 人に満たない小さな市ですが、外国の方が来てくださって微増しております。碧南市は人口が 72,000 人で、高浜市の 1.5 倍ほどです。1,500 人に 1 人の割合でロータリアンがいるのが望ましいと言われる中、高浜市と碧南市は 1,300 人に１人ということで、何とかクリアさせていただいております。

高浜市は三州瓦の産地として有名で、鬼瓦をはじめとする瓦製品の製造業が盛んです。かわら美術館のシャチホコ、高浜駅前のモニュメント、だるま窯、鬼みち、吉浜の細工人形、おまんと祭りなど、小ぶりながら見どころもございます。

碧南市は白しょうゆや三河みりんといった醸造が全国的にも有名で、料亭などでもよく使われています。農業ではへきなん美人（ニンジン）、タマネギ、イチジクが有名で、昔はどこにでもイチジクがありましたが、最近は高級品になっていて驚きます。工業ではトヨタを筆頭に関連の工場がたくさんございます。大浜の歴史的な町並みやてらまち、港町としての歴史もありまして、「てらまち小僧」という可愛いキャラクターもいるそうです。

そういったところで、簡単に説明させていただきました。最後になりますが、本日ご出席の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念致しまして、会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

委　員　会　報　告

＜出席奨励ニコボックス委員会＞

総会員数 61 名（内出席免除者 17 名の内出席者 13 名）出席者 48 名	
出席対象者　48／57 名	出　席　率　　84.21%
欠席者 13 名（病欠者 0 名）	

ガ バ ナ ー 公 式 訪 問

第２７６０地区 ガバナー　國府谷俊盛様（名古屋東ＲＣ）



國府谷俊盛様

皆さん、こんにちは。

本年度、2760 地区のガバナーを務めさせていただいております名古屋東 RC の國府谷俊盛と申します。どうぞ 1 年間よろしくお願い申し上げます。

まず、ガバナー公式訪問はどういったことをするのかということでございます。ガバナーになるまでの 2～3 年、いろんな研修を受けさせていただいた中で、「ガバナー公式訪問はそのクラブの弱点を見て指導してくるものだ」とおっしゃるファシリテーターもおられました。しかし、私はそうではなく、そのクラブが頑張っておられること、少ない人数でも何に取り組み、どんな意識で活動されているのかをキャッチして、他のクラブにその良さをお伝えしたり、いただいたご質問に丁寧にお答えしたりするのが、私たちの役目かなと思っております。

今日は両クラブに温かくお迎えいただきまして、ありがとうございます。そして、様々な意見交換をさせていただく中で、地区として何をすべきか、何を整えていくべきかを受け止めさせていただきました。

さて、冒頭に熊本の件を少しお話しさせていただきたいと思います。7 月 28 日、熊本も 10 年経って落ち着いてきたと話していた矢先にまた災害が起きました。特に大きな被害を受けた八代市は、約 6 万世帯が井戸水で生活しておられまして、その井戸が枯渇してしまいました。全国のガバナー会は当日の夜にリモート会議を開いて支援金を集めることを決めました。また、2720 地区のガバナーから井戸が止まっているという話を受けまして、全国のネットワークで九州北部や四国・中国地方の井戸掘削業者をご紹介しました。

報告では、9 月末には影響を受けている世帯が 6,000 世帯まで減ったというところでございます。当地区でも 2 か月にわたって募金活動をしていただきました。約 540 万円が集まりまして、先週の 9 日に送金させていただきました。皆様のご協力に御礼申し上げます。気候変動による大きな災害が日本でも起きている中、ロータリアンとしてそれをどう見つめていくのかを考えながら活動していきたいと思っております。

それでは、RI の方針、当地区の方針についてお話しさせていただきたいと思います。昨年度のイタリアのフランチェスコ会長が掲げられました「UNITE FOR GOOD」を受けまして、今年度はオラインカ・ハキーム・ババロラ会長が「CREATE LASTING IMPACT（持続可能なインパクトを生み出そう）」という素晴らしい方針を掲げられました。インカ会長はナイジェリアのご出身で、ローターアクトからロータリアンになられたロータリーに造詣の深い方でございます。クラブ計画書にインカさんのいろいろなストーリーが掲載されておりますので、まだお読みになっていない方はぜひご一読いただくと、インカ会長の思いが詰まったメッセージを受け止めることができるかと思います。

私が一番目に留まったのは、歴代の RI 会長が語られなかった「個人の変容」についてです。あなたがロータリーに入ってどう変わったのか、家族や会社、周りの友人がどう変わったのか、今日より明日、今年より来年、ロータリーによって自分がどう変わろうとしているのかを見つめてほしい、という言葉です。

これを受けて、今年度の地区方針は「元気で なかよく 楽しく そして 高潔に」、サブテーマを「新たな視点からの挑戦」と掲げさせていただきました。

第一に挙げさせていただいたのが、「職業の全う」でございます。自らの仕事を高い倫理観をもって全うすることが、ロータリアンの第一義的な要素だと思っております。内村鑑三は「人の一生というのは、自らの天職を見つける旅路だ」という言葉を残されております。

ロータリーの大先輩である昨年 8 月 14 日に 102 歳で亡くなられた裏千家前家元の鵬雲斎汎叟宗室（ほううんさいはんそうそうしつ）は、茶道というご自身の仕事を通して、一服のお茶碗の緑を 1 つの地球に見立て、生涯 80 数か国を回って世界平和を訴えられました。ガバナー、RI 理事などロータリーの重責も担われた職業奉仕の見本となる方として尊敬申し上げております。

第二に挙げさせていただいたのが、「親睦の深まり」でございます。ロータリーの創立者ポール・ハリス氏は、1921 年にスコットランドのエジンバラで初めて北米以外での国際大会を開いた際、「ロータリーの一番の基本は親睦だ」というメッセージを残されております。1 人や数人では大きな奉仕活動はできません。親睦を深めた多くの仲間がいてこそ、ロータリー活動は成就するのだと思います。

第三に挙げさせていただいたのが、「高潔さの付加」でございます。地区では公共イメージ向上委員会を設けて、ロータリー旗の掲げ方やロゴ入りのバッジを着けることなど、社会へのアピールを進めております。しかし、原点はロータリアン一人ひとりの行動です。

以前、裏千家の茶会で、ある団体が門の前の石畳まで車で乗りつけ、上着も着ずに入ってきたことがありました。私の家内が玄関番をしておりましたが、後ろで先生方が「ロータリーの人たちは何もわかっていない」と話すのが聞こえ、とても恥ずかしく悲しい思いをしたそうです。私たちの一挙手一投足が、長年積み上げてきた奉仕活動の価値を左右します。親睦の場で楽しむことはもちろん結構ですが、公共の場ではきちんと振る舞う。この 1 年、ぜひ心がけていただきたいと願っております。

さて、私が今年度の重点として挙げさせていただきましたのが、「日本の子どもたちのために」ということでございます。国連の子どもの権利条約は、差別の禁止、子どもの最善の利益、生きる・育つ権利、意見の尊重という 4 つの柱を定めております。果たして今の日本はこの 4 つに基づく環境になっているでしょうか。

令和 6 年度の自ら命を絶った小中高生は 529 人にのぼります。G7 各国の 10 万人当たりの自殺死亡率を比べると、日本は銃社会と言われるアメリカよりも高いのが現実です。また、児童虐待相談の対応件数は 223,691 件です。家庭の闇の中にはその 2 倍、3 倍、あるいは 5 倍の子どもたちがいるかもしれません。表面上は何事もない顔をして遊んでいる子どもの裏に何があるのか、私たちは日々敏感に感じ取っていく必要があると思います。

19 世紀の教育学者のエレン・ケイは、20 世紀こそ子どもの世紀にしたいと願いました。21 世紀も四半世紀が過ぎた今、果たして子どもの世紀と言えるでしょうか。子どもが生き生きと育つ時代を築き上げていくことが、私たちロータリアンの使命だと思っております。

そうしたことを踏まえて、具体的な活動としまして、2027 年 5 月 8 日、9 日にロータリー・ドネーション・フェスタ（RDF）を開催させていただきます。ロータリーの最優先事項はポリオ根絶でございます。あと少しというラストマイルまで来ていますが、最後の砦が厳しい状況でございます。これに加え、疲弊する日本の子どもたちへの支援もこのフェスタで行いたいと考えております。愛知県のボーイスカウト連盟や県内大学のボランティアサークルの皆さんにもご参加いただきます。

私たち 60 代半ばの世代には、学年に一人二人、小児麻痺にかかった同級生がいたものですが、今の若い世代はポリオを知りません。若い世代にポリオを知ってもらう機会にもしたいと思っております。ローターアクトや青少年交換の卒業生、マデリンさん、パウデルさんにもご参加いただきまして、ロータリーファミリーみんなで盛り上げていただきたいと願っております。

ロータリーは「I SERVE」が基本で、寄付は各自のお考えによるものです。毎年、クラブにお願いしている年次基金 150 ドル／人、ポリオプラス基金 30 ドル／人に加えまして、今年はあえて恒久基金 20 ドル／人を掲げさせていただきました。「急に言われてもクラブの予算に入っていない」とのご批判もいただきますが、恒久基金とはどういうものかに気づいていただきたいのです。

恒久基金は元本を残し、その運用益だけを活動に使う仕組みです。災害や気候変動、激化す

る国際紛争の中で、私たちの子どもや孫の世代にこの基金が活きてきます。年 20 ドル／人の積み重ねが 30 年後、50 年後に大きな恵みとなる。今年は難しくても、来年、再来年、個人でもクラブ単位でも、ぜひ目を向けていただきたいと思います。

次に会員増強のお話を少しさせていただきます。会員増強は厳しい時代になりましたが、女性会員にはまだまだ余地があると思っております。19 世紀後半にアメリカの画家のジョン・シンガー・サージェントが描いた、新しい女性像を象徴する一枚の絵があります。女性が前に出る時代の黎明期を表した絵です。会員増強ご担当の方は時々この絵を思い出して、女性会員の増強を心がけていただければと思います。

最後になりますけれども、RI 会長が掲げられました「持続可能なインパクトを生み出そう」、それぞれのクラブでいろんな持続可能な奉仕活動をされていると思います。「バタフライエフェクト」という言葉がございます。小さな蝶の羽ばたきが遠くの地でハリケーンを起こすかもしれない、という気象学の考え方から生まれた言葉だそうです。1 人 20 ドル、30 ドルは世界から見れば小さな羽ばたきにも満たないかもしれません。しかし、それが 20 年、30 年後には大河となりまして、子どもたち、孫たちが豊かな社会で生きられる。そうした世界を導いていくのが私たちロータリアンの使命だと思っております。

物理学者の寺田寅彦は、人間を「過失の動物」と評しました。地球を壊し環境を汚しているのは人間だけです。前向きな奉仕活動を進めることは大切ですが、私たちは大きな過失を償うために活動しているのだと振り返ることもできます。ぜひ崇高な精神をもって、この 1 年、奉仕活動に取り組んでいただきたいと願っております。地区としても皆様の活動を応援し、いろいろな情報を提供させていただきたいと思っております。

どうも今日はありがとうございました。

謝　　辞



杉浦栄次会長

謝辞ということで、高いところからではございますが、ご無礼をお許しください。

ガバナーの國府谷様、地区幹事の山田様、本日は高浜 RC と碧南 RC のためにお越しいただきまして、誠にありがとうございました。

私自身は会長エレクトのセミナーやガバナーの方針等を読み込む中で、ガバナーにお会いしてお話ししたいと思っておりましたので、本日はとても楽しい時間を過ごすことができました。

次年度会議や卓話でしっかりといろんな気づきをいただきましたので、私ども両クラブもしっかりと事業展開をしていきたいと思っております。

ガバナーの任務は大変お忙しいと思いますので、くれぐれもご自愛いただきまして、今年度 1 年のご活躍を祈念致しまして、謝辞とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

次回例会案内

令和８年１０月２８日（水）卓話「一般社団法人碧南青年会議所について」

一般社団法人碧南青年会議所　理事長　角谷　瞬 氏